第255回 エフエム栃木放送番組審議会 議事録

1 開催年月日 令和2年1月20日(月) 11:00~12:20

2 開催場所 宇都宮グランドホテル

3 委員の出席 委員総数 6人
出席委員数 6人

(1) 出席委員の氏名 片山 貴之 (委員長)
小笠原 伸 (副委員長)
青木 敬信
君島 理恵
新井 啓泰
高橋 淳

(2) 放送事業者側出席者 佐藤 英雄 (常務取締役業務推進本部長)
佐藤 望 (放送部長)
古寺 雄史 (総務部課長)

4 議題 (1) 番組の試聴及び意見交換
(2) その他
(3) 次回開催日程について

5 議事の概要

(1) 番組の試聴及び意見交換

1月3日(火曜日)18時から放送した年始特別番組「BERRY GOOD CM 2019」について、試聴と意見交換をおこなった。

事業者：

協賛スポンサーのCMコピーを公募する毎年恒例の企画であり、その優秀作品を審査員の寸評・評論を交えて紹介していく55分間の特別番組。

ラジオから流れていくCMがどのように作られるかがわかる内容になっている。

【 番 組 の 試 聴 】

委員：

CM コピーはいずれもクオリティが高く、20 秒の CM に込められた濃密な言葉の世界を充分に感じ、とても興味深い内容だった。

長年続いている良質な企画コンテンツであり、その特別番組も、構成・進行も手堅く、非常に洗練されている。

委員：

各CMコピーへの審査員の寸評コメントが番組の核になっていて、とても楽しく聞けたが、若干、その尺が短めで、もっと深い話が聞きたかった。例えば、進行役の佐藤アナのナレーションで、作品ごとに同じ説明や言葉を繰り返していた箇所もあり、その秒数分、審査コメントを厚くしてほしいと感じた。

委員：

受賞作品は、20 秒縛りの中でも、言葉のチカラ、巧みが十二分に表現されており、ラジオ CM には俳句や短歌の世界観に似た作品としての価値、深みを認識することが出来た。

委員：

受賞作品の紹介ナレーション後、すぐに受賞 CM 素材が流れていたが、そこは少し間を置いた方がイメージしやすく、聞きやすいと感じた。

委員：

スポンサー企業の様々な情報を切り口にして、コピー作品が作られていた。

CM 業界の有識者に高い評価を受けた CM が流れることは、放送局のイメージの向上にも繋がり、とても良い企画だ。

今回の受賞作品や審査コメントを web でも公開してみてもどうか。

委員：

審査員 3 人の雑談調の話の中から、審査員それぞれの性格や人間関係が伝わってきて面白かった。

委員：

耳に残る広告は、何十年経っても覚えているものであり、今回の受賞コピーはある意味、芸術作品として残っていく可能性を有したものばかりだった。広告は決して邪魔なものではなく、その価値や面白さを十分に追求していけるものだとして改めて考えさせられた。

(以上)

(2) その他

なし

(3) 次回開催日程について

次回の開催を 3 月 9 日 (月) とすることについて、全出席委員の了解を得た。

6 答申または改善意見に対してとった措置および年月日
なし

7 答申または意見の概要を公表した場合、公表の方法および年月日

(1) 放送 1月26日(日)午後7時55分の「レディオベリーインフォメーション」内

(2) 書面 本社事務所に備え置き

(3) インターネット エフエム栃木ホームページ内

8 その他の参考事項

なし